

# 事例から学ぶため池改修（補修・補強）設計研修会（実務実践研修） プログラム

開催日時：令和8年8月20日（木） 10:10～16:30

8月21日（金） 9:40～16:40

主 催：技術マネジメント研究所

講 師：伊藤 純仁 氏

- ・所属：株式会社日設コンサルタント 代表取締役会長
- ・資格：技術士（総合技術監理部門、農業部門農業土木）、一級土木施工管理技士、  
　　畑地かんがい技士、測量士、第2種情報処理、第2種下水道検定
- ・実績：老朽ため池に関する調査、計画、実施設計及び施工監理、老朽ため池に関する技術士会・  
　　各県農業土木技術連盟等での講習会多数、JICA(KITA)「総合水資源管理」コース講習会

[1日目]

## 1. 概 説

10:10～10:30

- ため池の概要 (パイピング、歴史、現状、今後の展望、堤体の老朽化)
- ため池の定義 (設計基準、基準の変遷、各県における基準)

## 2. 近年のため池被災事例

10:40～11:40

- 不可抗力に起因する事例 (老朽化、異常気象)
- 人為的なミスに起因する事例 (設計、施工監理)

## 3. ため池の構造についての基礎知識

12:40～15:30

- 土質関係の基礎知識 (土質の考え方、室内土質試験結果の読み方)
- ため池の構造 (基礎処理、堤体、洪水吐、斜樋、底樋、土砂吐、法面保護工)
- 各種堤体改修工法 (前刃金工法、グラウト工法、シート工法、ブランケット工法)

## 4. 施工における留意点

15:40～16:30



[2日目]

## 5. 堤体設計の考え方

9:40～10:30

- ポーリング調査結果の理解 (地質図の判断、堤体基礎地盤、現場透水試験値)
- 耐震を考慮した設計事例 (解析事例)

## 6. 洪水量算出・各施設の考え方

10:40～11:10

- 設計洪水量の算出 (確率の考え方、アメダス利用、採用降雨)
- 各構造物の考え方 (堤体、洪水吐、斜樋、底樋、土砂吐、法面保護工)

## 7. 各施設の考え方

11:20～12:10

- 洪水吐等の施設の考え方
- 堤体安定計算の考え方

## 8. 施工監理における留意点

13:10～13:40

## 9. 新工法

13:40～14:00

- 設計における新工法 (氾濫解析、底樋管更生、堤体・洪水吐切下げ、リサイクル刃金土)
- 機器利用による調査 (堤体電気探査、底樋管内撮影用カメラ、ドローン)

## 10. 演習

14:10～16:40

- 基礎資料、写真等の配付、堤体標準断面の検討
- グループ討議
- 設計結果発表と質疑応答
- 老朽ため池計画・設計に関するQ&A

事前にQ（質問）のアンケート  
を実施いたします。